

【23_179技術系メルマガ】なぜ、僕らはテクニカルを学ぶのか(後編)

〇〇さん

こんにちは、クロです。

先日のメルマガの続きになりますが、今日は予告の通り

同じ質問をサロンのメンバーにした結果を、簡単にご紹介したいと思います。

▼昨日のメールをまだ読んでない人はこちらからどうぞ▼

<https://docs.google.com/document/d/117M9Yg3C0FzJarFlkuk6jroMzXPLLsnoIh8G0SSkP1M/edit?usp=sharing>

～～以下、サロンメンバーの回答要約～～

- ・ファンダメンタル分析と比較して、自分の中に『判断の基準』を作りやすいから
- ・過去の値動き、傾向を基に『今後どうなったら仕掛ける(見送る)か』を決める基準になるから
- ・自分がトレードしようとする方向性『目線』を把握するために必要だから

などなど。

～～

各々表現の仕方は異なるものの、ニュアンスとしては上記のような回答をしてくれており、流石だなあと感じました(笑)

今、一部を紹介したように、僕らにとってテクニカル分析とは

『自分のトレードに“一貫性”を持たせるための基準』であり

それにしたがって勝ったり負けたりするトレードを10回、100回と繰り返す中で『収支のトータルプラス』を目指していくためのツールです。

『基準』が決まっているから、勝っても負けてもそのトレードの結果を納得して受け容れ、次のトレードに落ち着いて備えられる。

そこまでできるようになれば、個人の「メンタルの強さ」など関係なくなるし

更に『技術』を磨いていけば、どんどん資金量に応じてロットを増やし、稼ぐ額も勝手に増えていくわけです。

Twitterの界隈を見渡してみると「少ない金額で一発逆転ホームラン」を狙うが

代償として「入れた資金を全損させる可能性がある」トレードだったり、「先出しトレード」と称して

あたかもテクニカル分析で先の値動きを当てられる(手法がある)と錯覚させるような発信がたくさんありますが

果たしてそれで自分自身が『継続的にトレードで稼ぐ技術』を身につけられるでしょうか？

100%不可能ではないのですが、「相場で生き残り続ける」という視点で見たら僕はかなり難しいだろうと思います。

1、2回は偶発的にうまくいったとしても、それを何度も再現することはできないと思います。

そもそもトレードとは、自分が一定量の『リスク』を取る代わりに、それを上回る『リワード(利益)』を得るやりとりなので

リスクテイクする以上は、損切する場面が必ず発生するのです。

ということは、「過大なリスク」を負えば、相応の損失を被る危険が裏返しに存在しているという事を忘れてはいけません。

その時に、自分の中で『エントリー・利確・損切の基準』が定まっていなければ

それぞれの局面で判断を迫られ、迷い、結果一貫性の無いトレードを繰り返すことになります。

それを防ぎ、常に一貫した判断に沿って勝ち負けを積み重ねていく作業こそが

本来のトレードの在り方であり、それを助けてくれるツールが『テクニカル分析』なのです。

僕が不定期で主催している講座では、当然『型』の原型となる、僕のトレードスタイルをもとにした手法は共有しているのですが

それ以上にその『型』の性能を最大限発揮するための、そもそもの『考え方』を理解し、実践してもらうことを目指しています。

繰り返しになりますが、僕がこのメルマガ等を通じて

『トレードで勝つ』ためにいつも一貫してお伝えしている事は

- ・自分の『納得できる型』で『一貫性』のあるトレードをやり続ける事(悩まない)
- ・一回のトレードの結果ではなく『トータルの収支』で勝ち負けを考える事
- ・『リスク管理の徹底』で稼ぐ事

この理解と実践です。この考えに基づいて『自分の中で答えを決める』

そして、決めたらそれをぶらさないこと。

その為の物差しとしてテクニカル分析を用いるのだという意識を明確にして行きましょう。

今後も同じような事を言い続けていくと思うので(笑)

日々のメルマガを通じて、徐々に理解を深めていただければ幸いです。